



<2020年の終わりに … ～希望を抱いて～>



【1月の行事予定】

1(金)	元日
4(月)	仕事始め 共通テ・プレ演習③
5(火)	共通テ・プレ演習③
7(木)	始業式 大掃除
8(金)	学年会議
11(月)	成人の日
12(火)	月曜授業
13(水)	ライブプランニング育成講座①
15(金)	共通テスト激励会③ 進路講演会② 進研①②
16(土)	共通テスト③ 進研②
17(日)	共通テスト③
18(月)	共テ・自己採点③ 共テ・本番演習②
20(水)	職員会議
21(木)	共通テスト分析報告会③ 三者懇談期間③(～29日)
22(金)	志望校検討会③ [～27日(水)]
23(土)	駿台模試②
24(日)	第3回英検(一次)
25(月)	職員会議
28(木)	前期募集
29(金)	ライブプランニング育成講座②
30(土)	土曜課外①② 学習会①②

※○数字は学年を示します

「まさかこんな時代が来るとは思わなかった」というのが、今年2020年を振り返ったときに頭に浮かんだ言葉です。毎日検温し、マスクを着用して出かけ、とにかく手洗いと手指の消毒を頻繁に行い、不要不急の外出は控え、できるだけ人とは距離をあけること…これが2020年の(からの?)「新しい生活様式」だと一体だれが想像できたでしょう。人はどんなことにも慣れてしまうので(だからカミュは『ペスト』のなかで「絶望に慣れることは、絶望そのものより悪いのだ」と警告していたのですが)先に書いたことは、今を生きる私たちにとってはすでに当たり前のことになりつつあります…しかし、だからと言って、現状に本当に「絶望」して、それに慣れてしまっただけでは、私たちは「出来の悪いディストピア小説」の登場人物に成り下がってしまいます。どんなときにも希望を失わず、困難な中でも、できることを探して如何に愉快地に毎日を生きることができると、それを試されているような気がします。

先日、たまたま新海誠監督の『天気の子』を見る機会がありました。昨夏の大ヒット映画ですから、すでに内容を知っている人も多いかもしれませんが、あの作品の中で描かれている世界(日本)はある意味で「ディストピア」と言っても過言ではありません。猥雑な大都市東京を舞台に「モノと欲」に溢れてはいるけれども、そこに住む人々の暮らしはあまり豊かには見えません。そして決してやむことなく日々降り続く雨によって世界(日本)は…ここから先はネタバレになってしまうので割愛しますが、そのアニメの中の世界は、「困難な時代を生きている」という点では現在のコロナ禍を生きている私たちの日常に近いかもしれません。しかしながら、登場人物たちはその困難な日常を静かに受け入れ、その中で自分たちの在り方を自分たちで選択します。だからといって状況が好転するわけでもないのですが、少なくとも自分の生き方を自分で決断して進んで行こうとする姿勢は遅く、そこに少し希望が垣間見える気がします。

『天気の子』は英語では「Weathering with you」と訳されています。weatherには名詞として「天気」の意味がありますが、動詞としては「(嵐・困難などを)切り抜ける」という用法が存在します。2020年はもう終わりが近づいていますが、次年度以降も、それぞれが希望を胸に抱きながら、みんなで難局を切り抜けていけたらと思います。

<1学年対象 大学出張講義が行われました>

12月11日(金)の6, 7校時のコンテア探究とLHRの時間を利用して、1学年の生徒を対象に大学出張講義を実施しました。今回はコロナの感染拡大のため、分野別の会場を増やして一教室あたりの人数を減らし、一部の県外大学の先生にはZOOMを利用してリモートで講義を行っていただき、感染症予防対策に配慮しながら実施しました。「現代日本人の外国語学習」といったテーマから「くらしに役立つ感染予防」のように、コロナ禍に見舞われている現在に即した内容まで幅広く設定された10のテーマの中から、生徒たちは自分の進学希望に応じて講義を選択し、大学の先生から講義を受けました。私は時間の都合で、全ての講座を見て回ることができなかったのですが、最後に拝見させていただいた医学部講座の犬飼岳史先生(山梨大学医学部教授)のお話が大変印象に残りました。生徒から「先生はどうして医師を目指したのですか?」という質問にやや困惑されながら、本当は天文学を学びたかったと仰りました。でも、医師の道を選択し、やがて病棟の子供たちに星を見せる活動を始め、かつて憧れていた天文学の先生方から称賛される機会を得たそうです。その経験から先生は「人生は1つの道しか選ぶことはできません。でもどんな道を選んだとしても、学んだことは、後の人生のどこかで必ず繋がります、そしてそれがあなたの個性になっていきます。」と生徒たちに話してくださいました。小児科の医師として活躍されている犬飼先生の優しい語り、生徒たちは感銘を受け、その表情も輝いていました。

<進路を考えるヒント①：「今年の言葉」から>

Positive

(adj.) The most negative word of 2020.

2020年、ユークヤンの「新語・流行語大賞」を受賞した言葉は「**3密**」（東京都知事・小池百合子氏）でした。（今年の漢字も「密」でしたね…）今年とはとにかく「コロナ」に振り回された（ている）一年でしたが、それを反映した結果となりました。他にもアマビエとかアベノマスクなどがトップ10入りしていますので、2020年は残念ながら「コロナの年」だったと言えますね…。英語圏でも、"**Positive**

—The most negative word of 2020"という言葉がSNSなどで盛んに使われ、日本でも話題となりました。英語の学習に勤しんでいるであろう南高生には釈迦に説法となることは重々承知で解説しますが、この言葉は**ダブルミーニング**を使った洒落ですね。つまり、"**positive**"には「**積極的な、前向きの**」という意味と「**（検査などで）陽性の**」という意味があるので、「**ポジティブ（前向き・陽性）は2020年で最もネガティブな（好ましくない）言葉**」というわけですね。幸いなことに、本校ではコロナで検査結果がpositiveだった人はおりません。これからも、感染症対策に万全を尽くして、通常通りとはいかないかもしれませんが、生徒たちが「**前向きな姿勢**で」学校生活が送れるようにしていきたいと思えます。

<進路を考えるヒント②：内田樹著『日本習合論』>

二つ目の進路を考えるヒントです。今回は内田樹著『日本習合論』を紹介します。「習合」と聞くと、日本史で習った「**神仏習合**」を思い出しますね。私の教え子に「神宮寺」君という生徒がいましたが、**神様（神道、日本土着の信仰）とお寺（仏教、外来の宗教）**の組み合わせと云うのは、長く日本の歴史の中で当然の如く続いていたのです。今でも、神棚と仏壇が同じ家の中にあるという人もいないのでしょうか？しかし、明治時代に新政府により「**神仏判然令（神仏分離令）**」が出され、「日本の国教は神道とする」という方針が定められ、神仏習合は禁止となり「**廃仏毀釈**」の運動が起こって寺院や仏具の破壊が行われた…という流れが日本史の定説でしょうか？ただ、ここで「ハイハイ、そうですね」と頷かないところが筆者、内田樹氏の主張です。なぜ奈良時代から明治になるまで連綿と人々の間に続いた「神仏習合」という特異な信仰の在り方が、明治政府の「ダメ！」という掛け声だけでなくなってしまうのか？その謎にまつわる話はもちろん、「習合」つまり**ハイブリッド（雑種）**というのが日本文化の特徴であるという切り口から、共同体とは、民主主義とは、農業とは、働き方とは…と多種多様な話題が展開され、まさに**著者・内田樹の真骨頂が垣間見える名著**と言えます。

私は以前、本校の司書さんから「おすすめ本」の紹介を依頼された際、「○○と××」という組み合わせの本を好む傾向にあると述べ、『**博士と狂人**』という本を紹介しました。○○と××の組み合わせが内容的に離れていれば離れているほど、私は興味をそそられます。それはたぶん私自身の、「あれかこれか」というよりも「あれもこれも」を欲するという欲張りな性格からきているのではないかと思います。ジル・ドゥルーズの資本主義と統合失調症の組み合わせみたいな硬派な感じも好きですが、10月末には**かぼちゃの置物**を飾り、12月になると**キラキラしたツリー**を置き、それも片づけなまま**除夜の鐘**の音色に「いいなあ」なんて思いながら、翌日**初詣**に行くなんて日本人のゆるさも結構好きなんです。これってやっぱり「**日本人的な習合のなせる業**」ですよ？「節操がない」なんて言われても、一方でそれが「**日本の良さ**」でもあるような…？

◆◆◆ 冬休み中の自習室の利用に関する注意 ◆◆◆

今年はコロナの感染拡大のため、**休日の自習室の利用は3年生のみ**としています。

12月26日以降は、自習室の利用を3年生のみに限定します。これは受験を控える3年生と1, 2年生の接触をできるだけ少なくしたいという考えによる措置です。1, 2年生の皆さんには大変申し訳ありませんが、ご理解、ご協力をお願いします。利用時間は8:40～16:00となります。公共の場ですので、誰もが気持ちよく利用できるようにマナーを守ることはもちろん、感染症予防についても注意事項をきちんと守るようにしてください。

- ☆ 席を確保するために、荷物を置きっぱなしにしないこと
- ☆ 鍵の管理とヒーター、電灯の切り忘れに注意すること
- ☆ スマホなど校内で利用禁止の機器を使用しないこと
- ☆ 私語は厳に慎むこと

また、感染症対策として

- ★ 入室の際には、使用簿に記入すること
- ★ 手指のアルコール消毒をすること
- ★ 室内でマスクを着用して学習すること
- ★ 適宜換気を行うこと



入試が迫っています。体調管理には十分注意してください。

URL <https://www.kofuminami-h.ed.jp>
E-mail shinro@kofuminami-h.ed.jp

山梨県立甲府南高等学校
進路指導部